

学生寮「もみじ」寮長
国際学部国際学科2年 松尾 綾大

—寮長になったきっかけは何ですか。
リーダーなどをしたことがなかったので、経験してみたいと思い寮長になりました。学生寮「もみじ」にはAからDの4つの棟があり、各棟に寮長がいます。イベントがある時に取りまとめをしたり、みんなと会話をするように心がけています。



—寮生活はどのようにですか。
イベントの時は、大学の授業やアルバイトなど生活リズムが違うので、みんなで足並みを揃えるのが難しいですが寮に帰れば誰かがいるので、1人暮らしの寂しさはありません。部屋で一緒にテレビを見たり、バスケットボールをするなど、誰かと行動することが多いので修学旅行のようで楽しいです。

—高校生の皆さんへメッセージをお願いします。
大学は高校と違って自由な時間が多いので、サークル、バイト、友達と遊ぶ、趣味に費やすなど充実した時間を過ごして、納得のいく大学生活にしてください！

学生寮「もみじ」
1、2年生の男女約100名が入居して共同生活を営んでいます。キャンパス内にある学生寮の1階はバリアフリーになっており、車いすの方でも安心して利用できます。



国際学生寮「さくら」学生役職者
情報学部医情情報科学科3年 竹内 章

—入寮したきっかけは何ですか。
1年生の時に留学プログラムでサンフランシスコに行き、国際交流に興味を持ちました。その後、新しく出来る国際学生寮の募集を見て是非応募しようと思いました。

—学生役職者はどんなことをするのですか。
月に2回リーダー会議を行い、日々の生活で生じた問題点を話し合ったり、イベントの準備などもしています。1年目なので足りないことが多く、4月・5月は大変でしたが、徐々に要領を掴んできました。ゼロから作り上げることに魅力を感じて学生役職者になりました。とても良い経験となっています。

—これから入寮される皆さんへメッセージをお願いします。
普段の寮生活やさまざまな寮内イベントを通じて、みんな仲良く生活しています。留学生と同じ屋根の下で生活することは、日常生活では得られない経験であり、とても恵まれている環境だと思います。皆さんの入寮をお待ちしています。



国際学生寮「さくら」
住居機能に加え、教育的な視点も取り入れた寮です。個室部分と共有部分で構成された6人定員のユニットで日本人学生と外国人留学生とが共同生活を営んでいます



市大生の生活に迫る ～教えて！学生寮での生活～

市大には学生寮「もみじ」と学生寮「さくら」の2つの学生寮があります。それぞれの寮生に寮生活についてお話をお伺いしました！



国際学生寮「さくら」
国際学部交換留学生 林 揚帆

—留学した理由を教えてください。
中国の大学で日本語を学んでから好きになり、文化などをもっと知りたと思い留学しました。国際学部で特別聴講生として日本語と英語やマーケティングを学んでいます。

—寮での生活はどのようにですか。
同じユニットに4人で生活しており、私以外の3人は日本人です。一緒に料理を作ったり、生活やバイトのことなどを相談したりしています。帰って来たらみんながいるので、寮に入って本当によかったと思います。



—楽しいことは何ですか。
ルームメイトとテレビを見るのが最近の楽しみです。あとは中国語を教えたりしています。生活しているだけで日本語の勉強にもなるので、リビングにいても多いです。

—国際学生寮のいいところは？
階ごとにある交流スペースで自分のユニットのルームメイトだけでなく、階のみんなと話をしています。色々なイベントがあるので、それも楽しみのひとつです。



国際学生寮「さくら」
国際学部交換留学生 林 揚帆

—打ち込む

学ぶよろこび

芸術学部美術学科1年 大江 里実

皆さんは、自分の大学生活をどんなふうにも思い描いているでしょうか。大学は高校までとは違い、縛りも少なくとも自由です。だからこそ目標を持っていないとなかなか行動に移せず時間が過ぎていきます。

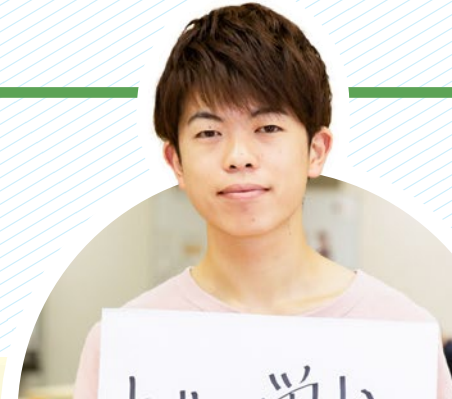
独自の表現を磨いていく上で技術の向上を求めるのはもちろんですが、勉強や読書もとても大切なことだと思います。そういった知識や経験は自分の世界を広げ、作品により深みをもたらすものと考えます。広島市立大学には芸術学部のほかに国際学部、情報科学部があるため、自分の専攻以外のさまざまな分野の講義を受けることができ、自分の興味をあらゆる視点から掘り下げることができます。また、比較的新しい大学なので設備が整っています。その環境を最大限に活用すれば、研究や作品制作、サークル活動など、授業外の時間も貴重なものにすることができます。私の場合、国際学生寮「さくら」での生活が大きな学びの場となっています。学部や年齢、生まれた国が違う友人たちと夜まで語り合ったり、絵のモデルになってもらったりして、刺激のある充実した日々を過ごしています。

皆さんは今、目標の実現に向けて行動しているところだと思います。その行動力は大学に入ってから試されるものです。自分の可能性を信じてどうか頑張ってください。



市大を志望する皆さんへ ～在学生からのメッセージ～

在学生から受験生の皆さんへ、自らの体験や心構えなどを交えた熱いメッセージが届きました。ぜひ、参考にしてみてください！



国際学部国際学科1年 丸照 圭佑

—挑戦

レッツ チャレンジ！

情報科学部1年 丸照 圭佑

私の広島市立大学に対する第一印象は、綺麗でおしゃれだなということでした。そう思っている人も多いでしょう。市大は比較的新しい大学なので、施設や設備が充実していると思います。

特に情報科学部はイメージ通りパソコンを使う授業があるので、パソコンの設備が十分に整っていることはメリットだと思います。また、国際や芸術の他学部の人とも仲良くなれる機会が多いので、3学部だけの小さな大学の良さというのを感じることもできます。やらずに後悔より、やって後悔の方がいいと思って、受験生活を送って来ました。逃げようと思えば簡単に逃げることもできるし、やろうと思えばキリがない。受験に「挑戦」することはとても大変なことですが、しかし、その大変なことを乗り越えてからこそ、楽しい学生生活が待っています。

私は大学生になり、バレーボールに「挑戦」しています。初めてやるスポーツで右も左もわからない状態ですが、優しい先輩や、同級生に—fromから教わりながら楽しく活動しています。「初心者だからついていけないかも」と最初は躊躇しましたが、やってみよう、「挑戦」してみようと思い入部しました。入部してよかったなと思います。何事にも前向きに、やってよかったと思えるように日々を過ごしてほしいと思います。笑顔で受験生活を終われるよう応援しています。市大で待っています！



国際学部国際学科1年 神津 圭佑

—誠心 誠意

やりたいことを見つけよう。

国際学部国際学科1年 神津 圭佑

ここ広島市立大学は国際色豊かな大学です。大学内を歩いても留学生とランチしている人を見かけますし、第二言語も多様です。国際学生寮「さくら」では留学生と共に生活し、毎日国際交流することができます。また、国際学部では国際政治や歴史、経済学までさまざまな講義を選択できます。

ただ、受験生は大学という場所をまだ理解していないでしょう。一言で言うなら、やりたいことがなんでもできる場所です。言葉をマスターしたり、サークル活動に打ち込んだり、起業したり、留学したり。そして、やりたいことをやる環境、サポートしてくれる友人、先輩、教授がいます。なので、受験生には、今のうちからやりたいことを考えてほしいと思います。しかし、学生にとって受験は楽しいものじゃありませんよね。精神的にも身体的にも苦しいときがあります。そんなときは、何をやりたいのか、何に興味があるのか考え、自分と向き合ってください。そうすれば、勉強の意味を明確にできるはずです。高校時代は学んでよし、遊んでよし、人間関係づくりをしてもよし。

ぜひ、残りの高校生活を悔いなく過ごし、やりたいことを見つけてほしいと思います。



2017年度
芸術学研究科造形芸術専攻 修了
古川 千夏
「GEMME」(金属造形)
2017年度 修了制作
修了制作優秀作品

活躍する市大人

在学生、卒業生を問わず、国内外のさまざまな分野で活躍する「市大人」を紹介します。

サラリーマンからアカデミックな道へ

東海大学理学部 情報数理学科 准教授 **藤ノ木 健介**さん(情報科学研究科(博士後期課程)情報科学専攻2012年度修了)

会社員として働きながら情報科学研究科博士後期課程に入学し、現在は東海大学理学部の准教授として働く藤ノ木さんにお話を伺いました。

「東海大学で働くようになった経緯と、現在の仕事について教えてください。」

もともと会社員から社会人入学で広島市立大学情報科学研究科の博士後期課程に入ったのですが、途中からは高等専門学校教員として働きながら博士論文の研究をしていました。そのため、大学院修了後の就職先はすでにあったのですが、博士号取得を機に、研究を極めるならばやはり大学しかないと思い始めました。大学教員を目指して就職活動をはじめたところ、縁あって今の職場の東海大学で働くことになりました。現在は理学部の情報寄りの数学系学科に所属し、数学と情報科学の教育研究をしています。授業は、工学部などの基礎的な数学科目を担当し、学科ではプログラミングなどの情報系の科目を教えています。

「現在ではどんな研究をしていますか。」

数学と情報科学が融合するような研究を理想として、日々取り組んでいます。前時代的ですが紙とペン(時には黒板とチョーク)で数学の理論と審判し、プログラミングでその理論を実装してまた審判する、それをぐるぐる繰り返す、といった感じです。特に、音や画像、動画などを対象にして、「数学を使って何ができるのか?」という問いに答えるべく、研究を行っています。例えば、「数学を使ってどうすれば画像を効率的に表現できるか?」という研究はいわゆる画像圧縮に直結します。おかげでスマホなどのモバイルデバイスでも、高画質な画像・動画をストレスなく扱うことができるようになり、皆さんの日常生活とも関係しています。

数学は決して目立ちませんが、実は現代社会をいろいろなところで影で支えており、あらゆる科学の基礎となる学問です。高度に抽象化された現代数学は、AIが急速に発展しても、最後まで到達できない領域だと思います。しかし、数学の深化だけに固執し、専門分野を深掘りしてただ細分化するだけでは、学問の発展はあっても、数学者ではない人にとっては、より無味乾燥なものになってしまうかもしれません。数学を応用できる人がいなければ、それを生かした社会貢献と科学の発展は期待できないと思います。そこで、「数学を使って(数学以外に)何ができるのか?」という最初の私の問いに戻ることになります。

「情報科学を学ぶきっかけはありましたか。特にないのですが、成り行きでコンピュータサイエンスというか、情報

系の学科を専攻して、気が付いたらそれに没頭していました。今は主に数学をやっていますし、一つの物事にハマると追求したくなる性格なので、興味があれば実は何でもよかったのかもかもしれません。ただ私が大学に入る2000年ごろは、ちょうどインターネットや電子メールが流行りだして、コンピュータ時代の到来と潮目を実感していました。

「一市大を志望した理由を教えてください。」
会社員時代に、博士号を取るために博士課程に入学しようと思って、受け入れ先の指導教員の先生を外国も含めて探しました。その時に、情報科学研究科の石光先生に思い切って相談してみたのが始まりですね。快く受け入れてくださり、そこから今に至るアカデミックなキャリアが切り拓けました。入学後に会社を退職し、高専に就職するまでの一時期は収入ゼロの学生になったのですが、今思い返すと結構危ない橋を渡っていました。でも良い選択だったと思います。おかげで広島は第二の故郷になりました。

「一市大の良いところを教えてください。」

国際・情報・芸術の3学部でコンパクトにまとまっていて良いと思います。また、この分野の組み合わせもユニークでおもしろいですね。国立としては比較的新しい大学なので、施設や設備も充実していると思います。最近、食堂などがリニューアルオープンしたみたいですが、これに限らず、時代と共にどんどん発展していってほしいです。

「最後に後輩たちへメッセージをお願いします。」
目先の利益や雑念にとらわれずに、その時興味があること、価値があると思ったことに真摯に打ち込んでみてください。その積み重ねこそが、将来の揺るぎない方向性を示唆してくれると信じています。

藤ノ木健介(ふじのき・けんすけ)
広島市立大学情報科学研究科(博士後期課程)情報科学専攻2012年度修了。東海大学理学部情報数理学科准教授。

東海大学
http://www.u-tokai.ac.jp/

クラブ・サークル紹介

<書道部>
広島市立大学書道部とは…
情報科学部知能工学科2年 江守 初心

書道部は、毎週火曜日の放課後に活動しており、一人一人が書きたいものを好きように自由に書けるので、和気あいあいと楽しく活動しています。普段の活動では書道練習がほとんどですが、大学祭では、大書パフォーマンスも披露しており、去年もとても盛り上がりました。

部員の中には、初心者も経験者もいるので、今まで書道をやったことがない人も書道を体験するチャンスです! また、学部を問わず活動をしているので、他の学部の人とも交流を持ちたいと思っている方、何か字を書きたいと思っている方は是非見学に来てみてください。

国際学部国際学科3年 森岡 菜摘

<Groo've>海外で家を建て、幸せを築く

国際学部国際学科3年 玉木 菜摘

こんにちは。広島Groo'veです(ぐーぶと読みます。)私たちは、海外で家を建てるボランティアをしている団体です! 世界には劣悪な住まいで暮らす人達が多くいます。私たちはそんな人たちがきちんとした家に住めるように、長期休みに約2週間、主に東南アジアの国で家を建てるボランティアに参加しています。これまでに、フィリピン・タイ・インドなどで活動してきました。訪れた国では家を建てるだけでなく、観光をしたり現地の人たちと交流したりと日本では体験できない生活を送り、また真剣に世界の現状とも向き合います。家を建てる、現地の人が「ありがとう」と言ってくださったときは本当に涙が出るほどうれしくなります。現地で過ごすそんな日々は毎日とても楽しくて忘れられない2週間になります。もちろん自分自身も成長できるし、かけがえのない仲間にも出会うことができます!

普段は週1回でミーティングを行い、国際問題などいろんなテーマについて楽しく話したりしています。ほかにも募金活動を行ったり、他大学との交流もしたりと充実した活動をしています。Groo'veのことが気になった方はぜひTwitter(@Groove_hfh)をフォローしてください。

タイで現地の方々と(前列右から3番目が玉木さん)

学生レポート

この記事は、「学生広報ポーター」に登録している市大生自ら取材をして作成しました。

バックンマクンの笑劇的国際交流!

国際学部国際学科3年 森岡 菜摘

6月22日(金)、グローバル人材育成事業の一環として、お笑い芸人バックンマクンによる講演会「バックンマクンの笑劇的国際交流」が講堂小ホールで行われました。

講演会では、「国際交流」をテーマに、日本人の英語に対する認識や和製英語について、バックンマクンがユーモアを交えながら、楽しくお話しされました。講演を聞いている私たちも近くの人と自己紹介をしたり、バックンマクンの呼びかけに手をあげたりと、ただ聞いているだけの講演会ではなかったところが実践的で、引き込まれました。

学生時代は英語が全くできなかったと語るマクンの英会話とは、そんな過去があったとはとても思えないほど素晴らしい、私たち国際学部生にとってはとても刺激的な体験になりました。英会話において、日本人は完璧主義を捨てるのが大事で、「英語が話せますか?」と聞かれたときに、「はい。」と胸を張って言ってほしいというお二人の強いメッセージが印象的でした。

誰でも気軽にコミュニケーションを取ることができる、はじめの一步としての「魔法の言葉-こんにちは」は、確かにその通りだと思われました。そして、国際交流というものの自体の数居が少し低くなったように思いました。日本に来た外国人の多くが日本語を話したいと思っていることや、一人一人が日本の魅力を伝える代表、個人大使として発信することの大切さなど、あらためて納得させられることが多く、本当にたくさん学びができました。終始ユーモラスなお二人の語りは、面白いだけでなくたくさんの学生に貴重な時間を与えてくれました。



参加者に呼びかけるバックンマクン

バックンマクン プロフィール
[写真左]吉田真(マクン):群馬県出身。
[写真右]パトリック・ハーラン(バックン):アメリカコロラド州出身。
1997年にお笑いコンビ結成。現在は、バラエティ番組だけでなく情報番組等でも幅広く活躍している。

west breeze

この記事は、「学生広報ポーター」に登録している市大生自ら取材をして作成しました。

中国・国際関係学部(海外学術交流協定大学等への学生派遣)身をもって感じた“一期一会”の大切さ

国際学部国際学科4年 横田 直人

前期は少人数で中国語を専門的に学び、後期は現地の学部生と同じ授業に参加していました。大学の授業は当然ですが、私はそれ以外の課外活動、校外活動に毎日力を入れていました。現地の大学は、留学生が非常に少なく、後期には日本人は私一人でした。そのため多くの中国人の友人に囲まれ、食事や旅行をはじめ、サッカー部での活動も共に行いました。留学は自分の行動力がすべてで、誰と出会うかが留学生生活を左右すると思っていました。だからこそ校外でもあらゆるイベントに顔を出し、ボランティア活動にも参加しました。そして、すべての人と真摯に向き合い出合いを大切にしました。

こうしてさまざまな場に出会い、多くの中国人と向き合っていくうちに、彼らの温かさや考え方、日本では学べないことを五感で堪能しました。人との出合いは更なる出合いを呼ぶことを身を持って感じ、そのすべての出合いが私の価値観や視野を格段に広げてくれました。これら多くの素敵な出会いに巡り合えたのは、行動力を持ってあらゆる場に出会い、中国人と正面から向き合い続ける姿勢があったからだと思います。私は中国での生活を通し、中国語だけではなく、人と信頼関係どう築けばいいのか、人と真摯に向き合うことの大切さを学び、何よりも出合いの素晴らしさ“一期一会”の本当の意味を理解しました。留学は、行くことだけにとどまらず現地で何を成し遂げるかが重要です。異国を五感で味わい、日本で感じるできないもの、価値観に触れることが留学の醍醐味です。楽しいことや苦しいこともありますが、その瞬間を楽しみ、乗り越えた人は、ひと回りふた回り成長した自分に出会えるはずです。

友人らと(2列目中央が横田さん)

友人らと(2列目中央が横田さん)

アメリカ・ハワイ大学マノワ校(海外学術協定大学等への学生派遣)人生を変えたハワイ留学

国際学部国際学科4年 清水 目央

高校生の頃からの夢であったハワイ大学への留学は、私の価値観や人生観を変えた貴重な体験でした。ハワイ大学では、日本では受けられない授業を取りたいと思っていた為、日系移民の歴史とハワイの歴史・神話に関する授業を取っていました。教室はいつもさまざまな人種の生徒が集まり、多様な意見が飛び交い、日本の大学では決して体験できないような刺激的な学生生活を送ることができました。課外活動では、日本人学生に英語教育研修プログラムを提供する会社で、彼らとハワイ大学の学生のコミュニケーションを円滑にする為に通訳としてボランティアをしていました。日本人学生と現地学生の交流を手助けしていると、日本と海外の架け橋になれたようで喜びを感じました。

留学中において、私に最も影響を与えたのは現地の人々でした。一つの人種から成っていない、人種の多様性がとても豊かなハワイに住む人々は、外国人であっても“アロハ”と言って受け入れてくれる温かい人たちばかりでした。自分自身の言動に自信を持ち、お互いを認め合える、「みんな違ってそれで良い!」という彼らのスピリットに、自分の言動に自信を持てていなかった私はとても感発され、積極的に主張し新しいことにも挑戦できるようになりました。「人生は一度きりしかないから、全力で楽しもう!」これが私の今の教訓です。世界に飛び出し、さまざまな人と関わり、さまざまなことを学び考えらるとい経験は何にも代えられない貴重なことです。一度きりしかない人生、みなさんも世界に飛び出してみてください。

現地の友人ら(1列目左から3番目が清水目央さん)

写真でみる市大ライフ

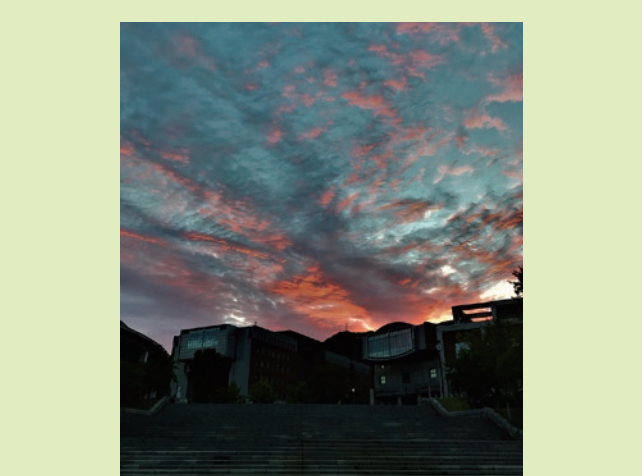
本学では、画像の投稿を通じ本学の魅力を再発見することを目的として、学生および教職員向けに「画像投稿サイト」(学内限定)を開設しています。第7回となる今回は、「市大私の自然・風景・生き物」をテーマに写真を募集しました。このサイトに投稿された作品の中から、最優秀賞および優秀賞を決定しています。今回は残念ながら最優秀賞は該当がありませんでしたが、以下の通り優秀賞を決定しました。これらの優秀作品を、ぜひ「市大ライフ」の参考にしてください。



①アイドル



②市大壁画



《作品番号 / 投稿者》
①松本拓也(芸術学部デザイン工芸学科2年)
②岩井千秋(国際学部教授)
③谷口和弘(情報科学研究科講師)

※学年は受賞当時

※第8回「市大のっておき」画像投稿を募集しています。たくさんの投稿をお待ちしております。

おめでとうございます
■情報科学研究科の学生が電気・情報関連学会中国支部連合大会で受賞
2017年10月、情報科学研究科(博士前期課程)1年の橋田修一さんが奨励賞を受賞。

■情報科学部の学生らがユニーク・自作チップ・コンテストで受賞
2018年1月、情報科学部情報工学科4年の平本和樹さん、原智裕さん、鎌田時生さん、情報科学研究科(博士前期課程)情報工学専攻1年の山下裕司さんが優秀賞を受賞。

■芸術学部の教員らが第73回春の院展で受賞
2018年3月、芸術学部の前田力准教授が最賞となる「日本美術院春季展賞(郁夫賞)」を受賞。その他、卒業生、大学院生らが多数入選。

■芸術学部の志水准教授が第21回文化庁メディア芸術祭で選出
2018年3月、芸術学部の志水児玉准教授の作品がアート部門の審査委員会推薦作品に選出。
※学年は受賞当時

■情報科学部の学生が情報処理学会ソフトウェア工学研究発表会で受賞
2018年3月、情報科学部情報工学科4年の西山佳志さんが学生研究賞を受賞。

■芸術学部の教員らが創画展で受賞
2018年4月、芸術学部の大庭李文非常勤助教が春季展賞を受賞。その他、卒業生が多数入選。

■軟式野球部が全国大会に出場
軟式野球部が中国地区春季リーグを6戦全勝で優勝し、8月19日から行われる第41回全日本大学軟式野球選手権大会に出場。
※学年は受賞当時

■広島平和研究所、SNS始めました
大学の附属機関・広島平和研究所は、この春からツイッターとフェイスブックを開設しました。イベントや刊行物など、研究所の活動について情報発信します。
◆ツイッター:twitter.com/HPIhiroshimaCU
◆フェイスブック:facebook.com/HPIhiroshima

市大ニュース

■シンガポール交流プログラムを実施
2018年3月、シンガポール交流プログラムに19名の学生が参加し、ホームステイや企業訪問、シンガポール国立大学の学生との交流等を行いました。

■英国ブラッドフォード大学にて研究会を開催
2018年3月、本学と学術交流協定を締結したブラッドフォード大学(イギリス)にて、研究交流の一環として研究会を開催し、広島平和研究所のロバート・ジェイコブス教授、孫賢謙准教授、国際学部の古澤嘉朗准教授が報告を行いました。研究会には20人を超えるブラッドフォード大学教員や学部生、大学院生が参加し、各報告後に活発な議論がなされました。

■学生表彰授賞式を実施
2018年3月、2017年度学長奨励賞を受賞した大庭李文さん[芸術学研究科(博士後期課程)総合造形芸術専攻3年]、上村謙史さん[情報科学研究科(博士前期課程)知能工学専攻2年]、松本千里さん[芸術学部デザイン工芸学科4年]の授与式が行われました。大庭さんは創画展での奨励賞受賞、上村さんは感情情報処理に関する国際ワークショップでの最優秀論文賞、松本さんはTokyo Midtown Award2017での優秀賞受賞が評価されました。

■2018年度入学式を挙行
2018年4月、講堂大ホールで挙行。学生、保護者、教職員等約900名が出席しました。

■国際学生寮さくらの入寮説明会・歓迎会を開催
2018年4月、国際学生寮さくらの入寮説明会・歓迎会を開催。寮生の生活をサポートする学生役職者をはじめ、新たに寮生活を始める学生約70名と教職員が出席しました。

■広島市立大学塾沖繩研究報告会を開催
2018年4月、沖繩研修に参加した塾生による沖繩研修報告会を開催。研修に参加した14名の塾生たちが3グループに分かれ、沖繩のことを自分自身の問題として感じよう、考えようとした成果を報告しました。

■留学ガイダンスと留学生歓迎・交流会を開催
2018年4月、学生会館で開催。100名を超える留学生や日本人学生、そして教職員が集まり交流を深めました。

■野田弘志名誉教授が天皇皇后両陛下の肖像画を制作
本学の名誉教授である野田弘志先生が、天皇皇后両陛下の肖像画を制作されました。

■芸術学研究科の学生が制作した壁面作品がホテルグランヴィア広島に完成
2018年5月、ホテルグランヴィア広島1階ロビーに西村七海さん[芸術学研究科(博士前期課程)造形芸術専攻2年]による壁面アートが完成しました。

■カーブアカデミー・インターンシップ参加報告会を開催
2018年5月、広島東洋カープ企業インターンシップに参加した山田英里香さん[国際学部4年]による報告会を開催しました。山田さんは去年9月から今年1月まで、ドミニカ共和国のカーブアカデミーで業務に携わりました。

■UNHCR難民高等教育プログラムに関する協定を締結
2018年6月、本学は国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)および国連UNHCR協会と、難民に高等教育の機会を提供する「UNHCR難民高等教育プログラム」に関する協定を国立大学、九州・中国四国地区の大学で初めて締結しました。

この本 ～ 教員の著書紹介～

国際学部 武田悠 講師
「日本の原子力外交—資源小国70年の苦闘」
2018年5月、中央公論新社

国際学部 井上泰浩 教授
「アメリカの原爆神話と情報操作 「広島」をめめたNYタイムズ記者とハーヴァード学長」
2018年6月、朝日新聞出版

2018年度 学年暦（後期）

後期(10月1日～3月31日)	
10月1日(月)	後期授業開始
10月1日(月)～12日(金)	後期履修手続期間
10月8日(月・休)の(日)	月曜日授業実施
10月27日(土)・28日(日)	大学祭
11月19日(月)～22日(木)	第3ターム試験期間
11月30日(日)	防火・防災訓練の日
12月23日(日)～1月3日(木)	冬季休業
1月18日(金)	開学記念日の振替日
1月30日(水)・31日(木)	後期補講日
2月1日(金)～13日(日)	後期定期試験
2月14日(木)～3月31日(水)	学年末休業
3月22日(金)	卒業式

「WEST BREEZE」へのご意見・ご感想を募集します

広島市立大学 企画・広報委員会
○E-mail:kikaku@m.hiroshima-cu.ac.jp
○Tel:082-830-1666 ○Fax:082-830-1656
WEST BREEZEのバックナンバーは、大学ウェブサイト[大学紹介]>「大学広報」>「広報誌「WEST BREEZE」」に掲載しています。

広報誌名
広島市立大学広報誌の表紙タイトル「W.B.」(「WEST BREEZE」の略称)は、広島市立大学のある西風新報にちなんで命名されました。
編集・発行 / 広島市立大学 企画・広報委員会
発行日 / 2018年8月1日